

2024年3月12日

各位

わらべや日洋ホールディングス株式会社

調理麺を製造する入間工場が稼働開始

わらべや日洋ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：辻英男）は、グループ初の調理麺専用工場となる入間工場（埼玉県入間市）を、2024年3月11日より稼働を開始いたしました。



入間工場は、ラーメン、パスタ、うどんやそばなどの麺類の製造を手がけ、商品は関東エリアのセブン-イレブン様にお届けいたします。多様化する食のニーズを踏まえ、売上ポートフォリオの変化に取り組む当社グループにとって、初めての調理麺専用工場の稼働と関東エリアへの調理麺の納品開始は、この取り組みが大きく進展するものと見込んでおります。

入間工場は環境にやさしい工場として、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用や省エネ、熱回収、リサイクルそして見える化システムなどを導入いたしました。例えば、工場で使用する電気の約半分の発電を担うガスコージェネレーションシステムでは、発電時に排出する廃熱もムダなく利用し、調理に必要な温水を生成しています。また、麺をゆでる際に排出される大量のお湯は、次に使用する水の加温（熱回収）や、循環設備によってトイレや散水などで使用できる雑用水に転換するなど、限りある資源の有効活用に取り組んでおります。

当社グループは、これからも「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、持続可能な社会に向けて健康で豊かな食生活に貢献してまいります。

入間工場の概要

運営	わらべやデリカ株式会社 (わらべや日洋ホールディングス株式会社 100%出資会社)
所在地	埼玉県入間市狭山台 234-7
延床面積	10,897 m ²
生產品目	調理麺、パスタ等
製造食数	約 27 万食 (1 日当たり)

以上